

領域開拓プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

◆課題: 「認知科学的転回」とアイデンティティの変容

◆研究テーマ: 予測的符号化の原理による心性の創発と共有-認知科学・人文学・情報学の統合的研究-

研究期間: H29.10~H32.9

委託費総額: 13,153千円

### <研究代表者>

大平英樹: 名古屋大学



大学院情報学研究科 / 教授

<専門分野>

生理心理学・認知神経科学

<Webページ>

<http://www.lit.nagoyau.ac.jp/~ohiralab/top.htm>

### <研究目的・概要>

知覚、認識、感情、価値観などの心性がどのように創発され共有されるのかは、人文学における極めて重要な問題



・脳は予測に基づき知覚や認識を能動的に構成すると主張する「予測的符号化」の原理に立脚  
・認知科学的実験、コンピュータ・シミュレーション、文献研究、テキストマイニングなどの学際的方法により、心性が創発され、文化や時代の中で共有されていくメカニズムを探求



高度で複雑な心性が、シンプルな原理から創発・共有される過程を解明

### <研究計画の特徴>

・「予測的符号化」という共通の原理から仮説を抽出して学際的かつ多様な方法でアプローチ

・テキストマイニングにより定量的な文献研究



### <目標とする研究成果>

(1) 心性の創発・共有の基礎的原理の解明

・行動、脳生理反応の同期から感情や価値観が生じ共有されるメカニズムを探求

(2) 心性の創発・共有の歴史文化的検証

・心性の社会的顕れである時代精神が形成され変容していく過程を、各時代・地域・文化において文献研究により示す

### <将来展望>

人文学と実証科学を融合した研究の方法とパラダイムを確立し、新たな研究領域を拓く